

2015年11月20日
矢崎エナジーシステム株式会社

配管継手のユニット化で作業性を大幅に向上！

LPG 用亜鉛製メータ廻りユニットを商品化

矢崎エナジーシステム株式会社（社長：矢崎航、資本金：3億1000万円、本社：東京都港区）は、光陽産業株式会社（社長：大山忠一、資本金：3億円、本社：東京都品川区）と共同でLPガス用メータ廻りユニットを商品化し、新型LPガス用超音波ガスメータの発売に合わせ2016年春に発売します。

昨今、LPガス販売事業者では、メータの設置などを担う職人が減少し、人手不足が問題となっています。技術を継承するにしても、一人前になるために相当の時間（約5年）を要するため、これら問題の早急な解決が求められています。

そこで当社は、新型LPガス用超音波ガスメータの発売にあわせ、作業効率の向上と作業者の負担軽減を目指し、光陽産業株式会社と共同でメータ廻りユニットを新たに商品化しました。メータガス栓とガスメータ接続部材、配管継手を一体化（ユニット化）することで、ねじによる接合箇所を2箇所に削減し、保安性・施工性を向上しつつ品質と美観も向上。さらに、配管パターンに合わせた様々な組み合わせが可能になるとともに、強度が増すため雪害対策にも有効となるなど、多くのメリットが得られます。

なお、光陽産業株式会社は、既に都市ガス用のメータ廻りユニットを発売中であり、今回は、LPガスを当社と共同で商品化しました。

◇製品の特徴～メータ廻りユニットのメリット

1. ねじによる接合箇所の削減

- 配管継手一体化により、ねじ接合箇所が従来の8～10箇所から2箇所に削減されました。
- 作業時間が大幅に削減されます。
- 複雑な配管継手の接合が減るため、施工品質が均一になります。
- 配管の強度が高まります。
- シール材が削減され、保安性が向上します。

2. 回転自在の継手

- 立管にユニットを載せて回転自在継手をねじ込むだけで施工完了となります。

3. 入出管の可動

- 入口管と出口管が可動するため、立管の幅が違ってもしっかり施工できます。

●狭く、入り組んだPS内や壁へのベタ付け施工にも対応します。

4. 圧力損失低減

●配管継手を一体化してガス経路の凹凸をなくし、圧力損失を大幅に低減します。

5. 検査口付

●検圧プラグを接続する検査口が付いています。

6. 美観の向上

●シンプルでスッキリとしたデザインで建物にマッチします。

◇製品写真



以上

本件についてのお問い合わせ先

矢崎エネルギーシステム株式会社 ガス機器事業部 企画部

Tel. 053-925-4511 Fax. 053-925-4512

〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23